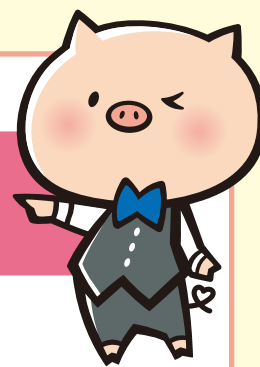


愛知商銀のとりくみ



社会貢献活動

信用組合の基本理念であります「地域密着型金融」を実践するため、様々な社会貢献活動に取り組んでおります。



地域清掃



献血

しょうぎんCUP in 愛知カンツリー倶楽部



全店合同ゴルフコンペを開催いたしました。



125名の方にご参加いただきました。

森永卓郎氏講演会

信用組合の広報活動として、経済評論家の森永卓郎氏をお招きし、講演会を開催いたしました。



285名の方にご来場いただきました。



当組合役員と記念撮影

信用組合 愛知商銀

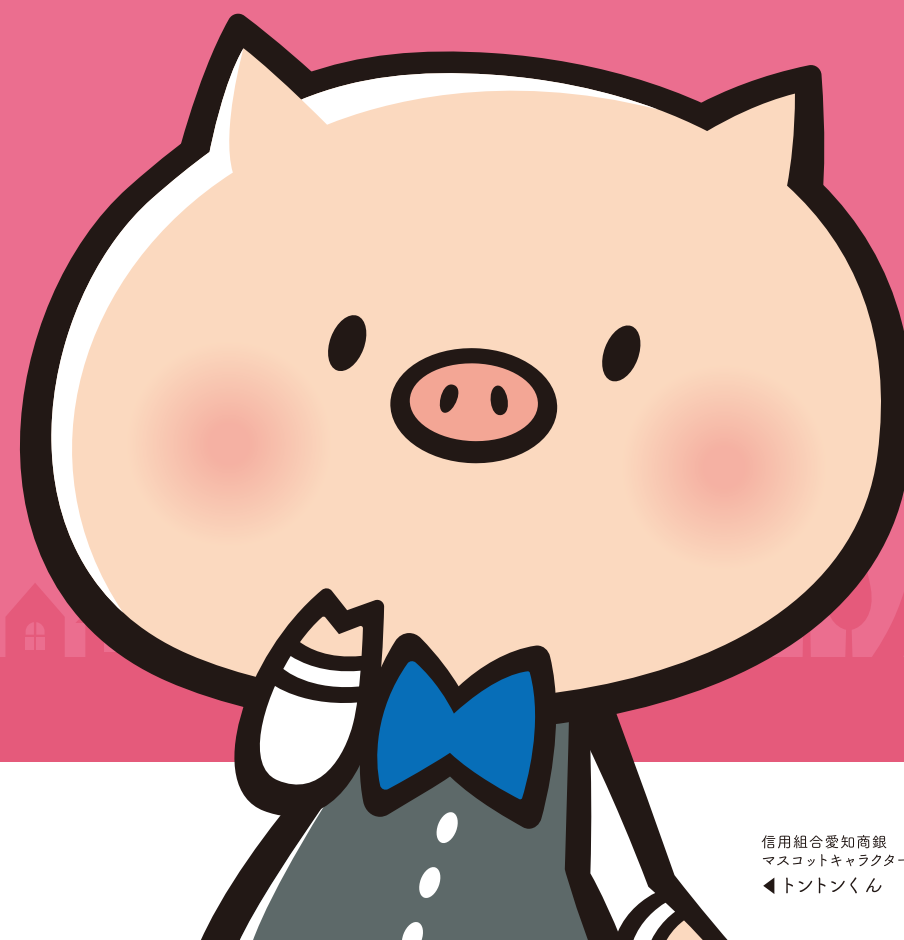


| | | |
|--------------|--------------------------------|--------------|
| 本店営業部 | 〒453-0013 愛知県名古屋市中村区亀島一丁目6番18号 | 052-451-5141 |
| 岡崎支店 | 〒444-0913 愛知県岡崎市葵町4番地10 | 0564-21-5141 |
| 一宮支店 | 〒491-0862 愛知県一宮市緑3丁目11番14号 | 0586-72-0256 |
| 今池支店 | 〒464-0850 愛知県名古屋千種区今池5丁目15番1号 | 052-732-5426 |
| 豊橋支店 | 〒440-0882 愛知県豊橋市神明町46番地 | 0532-53-7336 |
| 柴田支店 | 〒457-0807 愛知県名古屋南区鶴見通5丁目2番9号 | 052-614-1231 |
| 春日井支店 | 〒486-0851 愛知県春日井市篠木町1丁目23番地 | 0568-85-3222 |
| 津支店 | 〒514-0035 三重県津市西丸之内11番10号 | 059-224-1161 |

ディスクロージャー

DISCLOSURE 2020

2020.09.30
Management Information



信用組合 愛知商銀

信用組合愛知商銀
マスコットキャラクター
トントンくん

愛知商銀について

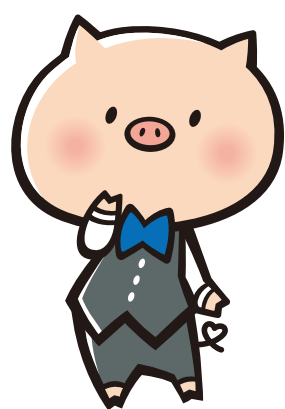


信用組合愛知商銀は、2019年度に「創立65周年」を迎えております。

沿革

| | |
|----------|----------------------------|
| 1954年12月 | 金剛信用組合を設立(名古屋市東区) |
| 1955年11月 | 本店移転(名古屋市中村区椿町2丁目) |
| 1958年 9月 | 信用組合愛知商銀に名称変更 |
| 1960年 7月 | 岡崎支店を新設 |
| 1962年 8月 | 一宮支店を新設 |
| 1964年 5月 | 本店移転(名古屋市中村区則武1丁目) |
| 1985年 5月 | 自営オンラインシステム稼働 |
| 1989年11月 | 春日井支店を新設 |
| 2002年 2月 | 信用組合三重商銀(四日市支店・津支店)を事業譲受 |
| 2002年10月 | 熱田支店を柴田支店へ統合、上飯田支店を今池支店へ統合 |
| 2004年 1月 | 瀬戸支店を春日井支店へ統合、豊田支店を岡崎支店へ統合 |
| 2006年 5月 | SKC(信組共同センター)オンラインシステム加盟 |
| 2006年12月 | 四日市支店を本店営業部へ統合 |
| 2019年 5月 | 本店移転(名古屋市中村区亀島1丁目) |

設 立 1954年12月27日
預 金 額 1,051億8,857万円
貸 出 金 745億5,866万円
出 資 金 35億5,149万円
組合員数 17,736人
役員員数 111人
店 舗 数 8店舗



トントンくん

元々は貯金箱だったが、お金がいっぱいに貯まった時、ブタの妖精に生まれ変わったトントンくん。ベストと蝶ネクタイは「お客様第一」の象徴。

プロフィール

- 性別 男の子
- 年齢 妖精になってから一歳
- 現れる時 お客様のチカラになれる時
- 得意なこと 幸せのタネをお客様と一緒に育てること
- チャームポイント ハートのしっぽ

ごあいさつ

皆様方には、日頃より当組合に格別のご愛顧お引き立てを賜り、心より厚くお礼申し上げます。
本年も、当組合の現況をより深くご理解頂くため、ミニディスクロージャー誌を作成致しましたので、ご高覧賜りたいと存じます。

2020年度上半期は、「3密回避」の周知徹底アナウンスや各種事業者への営業自粛要請により、一旦は落ち着いたかのように見えた新型コロナウイルスの感染拡大が、緊急事態宣言の解除から程なく「感染第2波」とも言える状況へと一変しました。こうした現状を打破するためには、早期のワクチン開発が一番の解決策ではありますが、むしろ長期戦を睨んだニューノーマルなライフスタイル・ビジネススタイル構築が急務であると思わざるを得ません。

上半期における当組合の業績については、主力商品である『シルバー定期預金』と『すまい定期預金』の堅調な売れ行きにより、預金残高は1,051億円になるとともに、貸出金残高については、特に新型コロナウイルス感染症対策融資が急増したことなどにより745億円となりました。

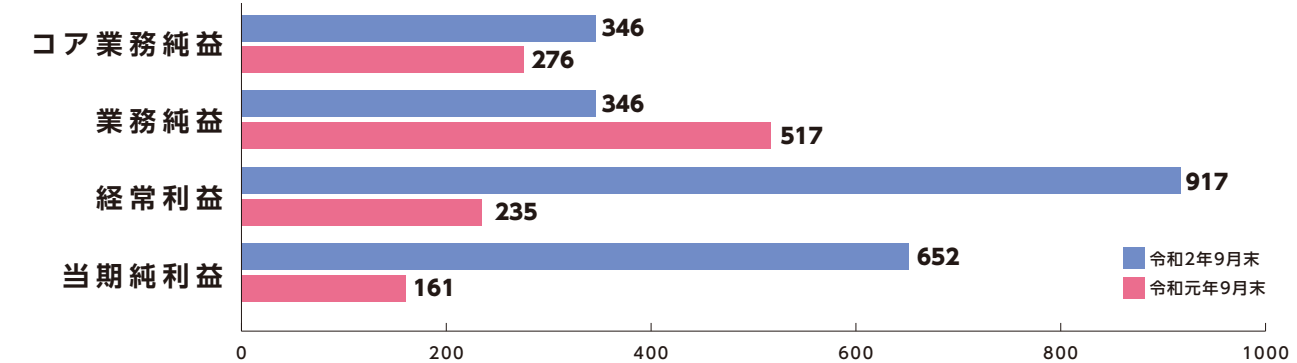
収益面については、コロナ禍の影響で、対外的業務を積極的かつ開放的に推進することが非常に困難となっていることから、組合内部の業務効率化や経費節減策を丁寧に推し進めた結果、経常利益は917百万円、当期純利益は652百万円となりました。また、金融機関の健全性を示す指標である自己資本比率も8.44%と国内基準である4%を大きく上回っております。

今後も地域における協同組合組織として経営基盤の健全性維持に努めるとともに、中小零細企業及び勤労者の資金円滑化、並びに組合員の経済的地位の向上に資することを目的とし、地域の皆様に真にお役に立てる金融機関を目指してまいりますので、一層のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

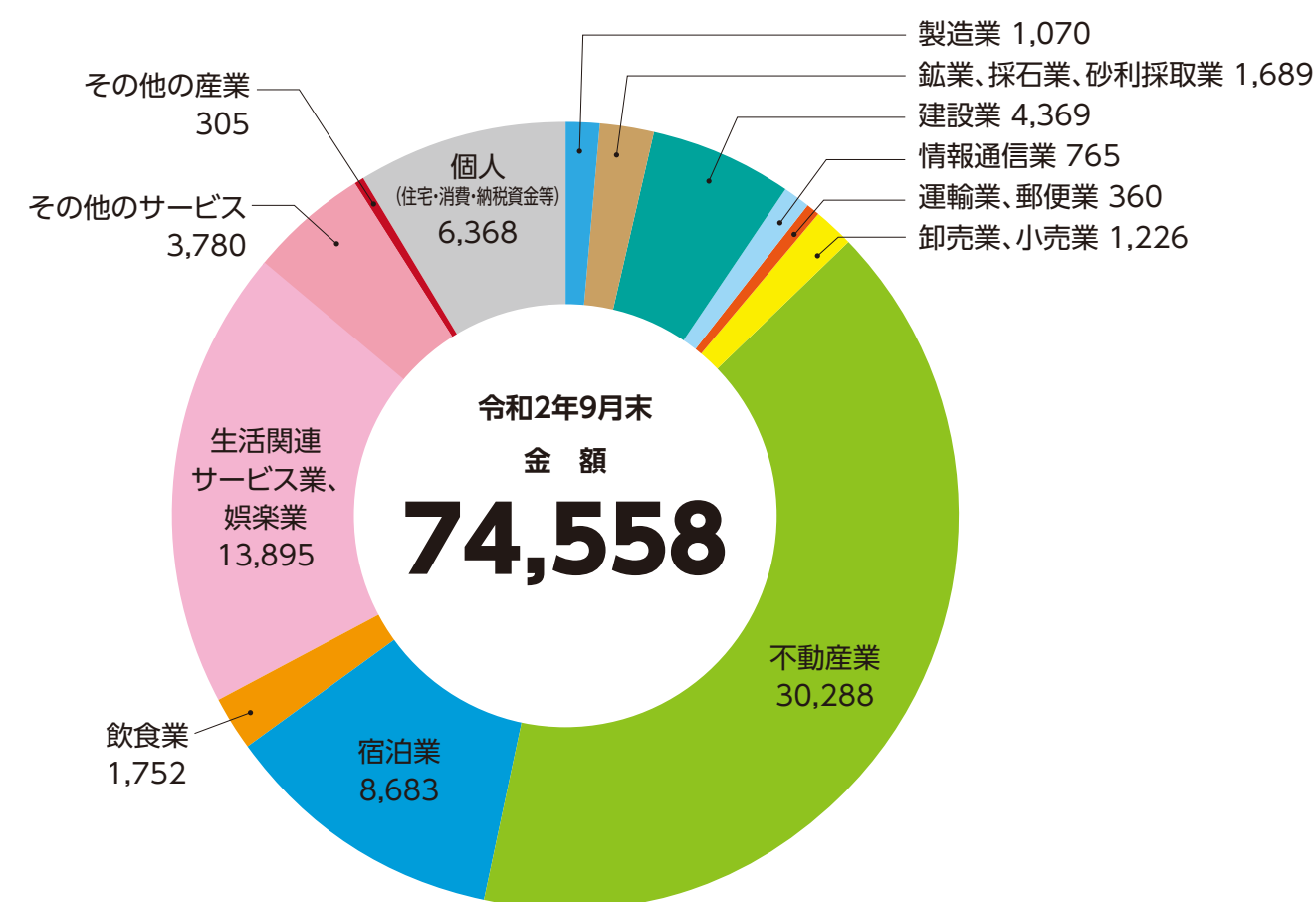
理事長 大原 清二

愛知商銀の経営情報

損益状況



貸出金業種別残高



貸借対照表

(単位:百万円)

| (資産の部) | | 令和2年3月末 | 令和2年9月末 | (負債の部) | | 令和2年3月末 | 令和2年9月末 |
|---------------|----------|----------|-------------------------|---------|---------|---------|---------|
| 現 金 | 683 | 578 | 預 金 積 金 | 105,163 | 105,188 | | |
| 預 け 金 | 54,672 | 53,954 | 借 用 金 | 20,865 | 27,535 | | |
| 有 価 証 券 | 3,304 | 9,139 | そ の 他 負 債 | 702 | 838 | | |
| 貸 出 金 | 72,642 | 74,558 | 賞 与 引 当 金 | 52 | 58 | | |
| そ の 他 資 産 | 580 | 544 | 役 員 賞 与 引 当 金 | 6 | — | | |
| 有 形 固 定 資 産 | 3,074 | 3,043 | 役 員 退 職 慰 労 引 当 金 | 87 | 95 | | |
| 無 形 固 定 資 産 | 3 | 6 | 睡 眠 預 金 払 戻 損 失 引 当 金 | 1 | 0 | | |
| 前 払 年 金 費 用 | 115 | 183 | 再 評 価 に 係 る 繰 延 税 金 負 債 | 51 | 51 | | |
| 繰 延 税 金 資 産 | 1 | 9 | 債 務 保 証 | 390 | 387 | | |
| 債 務 保 証 見 返 | 390 | 387 | 負 債 の 部 合 計 | 127,321 | 134,155 | | |
| 貸 倒 引 当 金 | △ 2,154 | △ 1,645 | (純資産の部) | | | | |
| (うち個別貸倒引当金) | (△1,650) | (△1,366) | 出 資 金 | 3,483 | 3,551 | | |
| 資 産 減 損 引 当 金 | △ 0 | — | 利 益 剰 余 金 | 2,562 | 3,180 | | |
| 資 産 の 部 合 計 | 133,311 | 140,762 | 利 益 準 備 金 | 1,281 | 1,411 | | |
| | | | そ の 他 利 益 剰 余 金 | 1,281 | 1,769 | | |
| | | | 組 合 員 勘 定 合 計 | 6,045 | 6,732 | | |
| | | | そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金 | 9 | △ 60 | | |
| | | | 土 地 再 評 価 差 額 金 | △ 64 | △ 64 | | |
| | | | 評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計 | △ 54 | △ 125 | | |
| | | | 純 資 産 の 部 合 計 | 5,990 | 6,606 | | |
| | | | 負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計 | 133,311 | 140,762 | | |

損益計算書

(単位:百万円)

| | 令和元年9月末 | 令和2年9月末 | | 令和元年9月末 | 令和2年9月末 |
|-----------------|---------|---------|-----------------|---------|---------|
| 経 常 収 益 | 1,461 | 1,688 | 法人税、住民税及び事業税 | 68 | 248 |
| 資 金 運 用 収 益 | 1,122 | 1,151 | 法 人 税 等 調 整 額 | 3 | 18 |
| 役 務 取 引 等 収 益 | 37 | 25 | 法 人 税 等 合 計 | 72 | 266 |
| そ の 他 業 務 収 益 | 294 | 1 | 当 期 純 利 益 | 161 | 652 |
| そ の 他 経 常 収 益 | 7 | 511 | 繰越金(当期首残高) | 1,120 | 1,117 |
| 経 常 費 用 | 1,225 | 771 | 当 期 未 処 分 剰 余 金 | 1,281 | 1,769 |
| 資 金 調 達 費 用 | 194 | 197 | | | |
| 役 務 取 引 等 費 用 | 17 | 18 | | | |
| 経 費 | 673 | 554 | | | |
| そ の 他 経 常 費 用 | 340 | 0 | | | |
| 経 常 利 益 | 235 | 917 | | | |
| 特 別 利 益 | 0 | 2 | | | |
| 特 別 損 失 | 2 | 2 | | | |
| 税 引 前 当 期 純 利 益 | 233 | 918 | | | |

自己資本の充実状況

(単位:百万円)

| コア資本に係る基礎項目(1) | | |
|------------------------------------------------------------|--|--------|
| 普通出資又は非累積的永久優先出資に係る組合員勘定又は会員勘定の額 | | 6,732 |
| うち、出資金及び資本剰余金の額 | | 3,551 |
| うち、利益剰余金の額 | | 3,180 |
| コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額 | | 278 |
| うち、一般貸倒引当金コア資本算入額 | | 278 |
| 適格旧資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額 | | 409 |
| 土地再評価額と再評価直前の帳簿価額の差額の四十五パーセントに相当する額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額 | | △2 |
| コア資本に係る基礎項目の額 (イ) | | 7,418 |
| コア資本に係る調整項目(2) | | |
| 無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。)の額の合計額 | | 4 |
| うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外の額 | | 4 |
| 前払年金費用の額 | | 135 |
| コア資本に係る調整項目の額 (ロ) | | 139 |
| 自己資本 | | |
| 自己資本の額((イ)-(ロ)) (ハ) | | 7,278 |
| リスク・アセット等(3) | | |
| 信用リスク・アセットの額の合計額 | | 82,527 |
| うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額 | | △12 |
| オペレーショナル・リスク相当額の合計額を八パーセントで除して得た額 | | 3,645 |
| リスク・アセットの額の合計額 (ニ) | | 86,172 |
| 単体自己資本比率 | | |
| 単体自己資本比率((ハ)/(ニ)) | | 8.44% |

金融再生法開示債権及び同債権に対する保全額

(単位:百万円、%)

| 区 分 | 債権額 (A) | 担保・保証等 (B) | 貸倒引当金 (C) | 保全額 (D)=(B)+(C) | 保全率 (D)/(A) |
|-------------------|---------|------------|-----------|-----------------|-------------|
| 破産更生債権及びこれらに準ずる債権 | 令和2年3月末 | 1,482 | 502 | 979 | 1,482 |
| | 令和2年9月末 | 1,608 | 480 | 1,127 | 1,608 |
| 危険債権 | 令和2年3月末 | 2,484 | 1,581 | 671 | 2,252 |
| | 令和2年9月末 | 2,120 | 1,603 | 238 | 1,842 |
| 要管理債権 | 令和2年3月末 | 1,056 | 699 | 4 | 703 |
| | 令和2年9月末 | 1,077 | 719 | 6 | 725 |
| 不良債権計 | 令和2年3月末 | 5,023 | 2,783 | 1,654 | 4,438 |
| | 令和2年9月末 | 4,806 | 2,804 | 1,372 | 4,176 |
| 正常債権 | 令和2年3月末 | 68,048 | | | 68,048 |
| | 令和2年9月末 | 70,178 | | | 70,178 |
| 合 計 | 令和2年3月末 | 73,072 | | | 73,072 |
| | 令和2年9月末 | 74,984 | | | 74,984 |

(注)自己資本比率の算出方法を定めた「協同組合による金融事業に関する法律第六条第一項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用協同組合及び信用協同組合連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第22号)」に係る算式に基づき算出しております。なお、当組合は国内基準を採用しております。

(注)各計数は、単位未満を切り捨てて表示していますので、合計が一致しない場合があります。

